






2016 年（H28）活動報告

ストップ結核パートナーシップ日本

1 月	
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ●議員連盟へ Global TB Summit の情報共有と活動の支援（2/4～） グローバルファンド第5次増資会合に向けて、世界結核議連より各国の代表へ要望書を提出する。日本からは10名が賛同 ●2015年（H27）決算監査（2/18） 会場：グリューネスハイム ●G7 専門家会議へオブザーブ出席（2/19） 会場：外務省 ●GII/IDI（外務省・NGO 懇談会）（2/25）に参加 会場：外務省
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ●国際結核セミナー、世界結核デーフォーラム、全国結核対策推進会議に参加（3/3～4） 会場：ヤクルトホール 世界結核デー記念フォーラム： 「ストップ結核ジャパンアクションプランの実現にむけて」 ポスター展示： 「2020年に罹患率10万対10を実現するために」 ●アジア・ストップ結核パートナーシップ ナショナル フォーラム 開催（3/14・15） 会場：国連大学、ホテルニューオータニ、結核研究所 参加者：18人 8か国（カンボジア、インドネシア、韓国、ミャンマー、ネパール、フィリピン、台湾、タイ） 会議内容：End TB Strategy（結核終息2016～2020のための世界計画）実現に向けて、NGOの果たす役割、NGOの活動強化への課題について活発な討議が行われた。スローガンとして「女性はコミュニティの健康の創造者」が採択された。 ●決算理事会（3/23） 2015年（H27）会計報告承認



<p>4 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●APDA（人口と開発に関する国際会議）向けに国際結核議連への情報提供（～4/26） ●GII/IDI（外務省・NGO 懇談会）（4/19）に参加 ●結核ゆかりの地（医療遺産）、晴嵐荘への取材（4/21） 	 
<p>5 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●STBJ ウェブサイト コンテンツ部分完成（5月） ●世界結核議連（Asia Pacific）からの議連への進捗報告（5/17） ●朝日小学生新聞の森亨先生への取材（5/24） STBJ活動、世界結核状況など。 →記事となった（6/10） ●伊勢志摩サミット（5/26-27） NGO 保健ネットワークとして保健提言（UHC）に参加 「日本 GF 8 億ドル拠出表明」に対する声明を（特活）アフリカ日本協議会、（特活）エイズ&ソサエティ研究会議、（公財）結核予防会、（特活）Malaria No More Japan と連名で提出 	
<p>6 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●GII/IDI 外務省とNGO 懇談会に参加（6/23） ●厚生労働省結核感染症課に結核低蔓延化に向けた要望書を提出（6/28） <ol style="list-style-type: none"> 1. 潜在性結核感染症治療の推進について 2. 静脈注射用リファンピシン製剤の承認と普及について 3. 職場における結核集団感染の予防について 4. 外国人結核の予防について 	
<p>7 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「日本の予防接種率向上に向けた課題と取組」に出席（7/11） 主催：在日米国商工会議所（ACCJ） 会場：東京アメリカンクラブ スピーカー： 森内浩幸（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授） マイケル・マレット（サノフィ（株）サノフィパスツールワケチ） 	

ンビジネスユニット、執行役員ジェネラルマネージャー)

- ストップ結核ジャパンアクションプランフォローアップ会合に参加 (7/12) 幹事：結核予防会

会場：結核予防会

参加：外務省（国際協力局国際保健政策室）、厚労省（国際課国際協力室、結核感染症課）、JICA（人間開発部保健第一グループ保健第2チーム）、結核予防会、ストップ結核パートナーシップ日本

1. 結核戦略について STAG など、情報共有
2. 前回（第15回会合 H272.11）議案の進捗状況（コンソーシアム関連など）
3. G7 伊勢志摩サミット・保健大臣会合、TICAD VI
4. H29 概算要求

- 議員連盟への情報提供 (7/27)

国内外の結核状況など

- 議員連盟 武見敬三会長との面談 (7/29)

個別疾病対策の重要性の理解、国内結核については、低蔓延化を目指し、従来の対策では手の届きづらいハイリスクグループ（外国人、臨時日雇、無職など）に対する対策強化が必要と要望



8
月

- ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟総会が開催 (8/1)

会場：参議院会館 B104

議題：

1. 平成 29 年度結核関連予算に関する要望 (STBJ)
2. 上記要望に対する回答 (厚生労働省、外務省)
3. その他
 - ・アジア・ナショナル・ストップ結核パートナーシップ・フォーラム報告
 - ・Global TB Caucus (世界結核議連) への協力 報告
 - ・国際結核肺疾患予防連合アジア太平洋地域学術大会 案内

- 厚生労働省「平成 27 年結核登録者情報調査年報集計結果」発表に関する記者発表を実施 (8/12)

場所：厚生労働省記者会

内容：平成 27 年結核登録者情報調査年報集計結果の解説



～2020年までに日本を低蔓延国に～

1. 平成27年結核登録者情報調査年報集計の解説

石川信克（結核研究所所長、STBJ 理事）

2. 2020年までに低蔓延化に向けた対策戦略

森 亨（結核研究所名誉所長、STBJ 代表理事）

3. コメント

浅沼一成（厚生労働省健康局 結核感染症課長）

→ 朝日新聞、YomiDr. に記事になった（8/12）

結核の新規患者が減少 厚労省低蔓延国目指したい（朝日）

結核患者「10万人あたり10人以下に」・・・と厚労省が目標（YomiDr）

●TB Expert Community Meeting の主催（8/26-8/27）

座長：森先生

助成：キアゲン、サノフィ

場所：台湾 台北（ハイヤットホテル）

参加国：18ヶ国（台湾、韓国、インドネシア、シンガポール、マレーシア、タイ、中国、フィリピン、インド、など）

参加企業：22社

テーマ：アジアの結核終息にむけたLTBIへの取り組み

目的：

- ・アジアにおけるLTBIの管理と対策についての事例を確認する。
- ・臨床試験中のLTBIの治療や新しい診断ツールを含む研究の状況を確認する。



9月

●世界結核議連（Asia Pacific）のグローバルファンド第5次増資
会合へ向けた活動へのサポート（9/1～9/9）

世界結核議連より各国の代表へ要望書を提出する。日本からは14名が賛同。

●パネルディスカッション「『レントゲン』がアフリカの健康を守る！」に出席（9/1）

主催：公益財団法人結核予防会 協力：富士フイルム株式会社

	<ul style="list-style-type: none"> ●結核予防週間 結核予防会と水道橋ビル前での啓発活動 (9/28) ●世界結核議連議長の The International Journal of Tuberculosis and Lung Disease (IJTLD) への寄稿「共同責任：結核終息に向けての政治的意志」を議員連盟へ共有 (9/29) 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバルフェスタジャパン 2016 で結核予防会と啓発活動を実施 (10/1-2) ●GII/IDI (外務省・NGO 懇談会) に出席 (10/18) ●第 75 回公衆衛生学会総会で提言・啓発活動を実施 (10/26-28) 場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コンブレコンベンションセンター テーマ：低蔓延化、WHO Global TB Report2016 情報提供、結核予防指針パブリックコメント募集 など S T B 関西がポスター展示を行った。 「結核問題解決のためのパートナーシップ活動の現状と課題と可能性」 ●東京都での認定 N P O 法人申請準備開始 10/21 東京都と相談 	 
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●結核予防指針パブリックコメント (11/2 提出) ●ストップ結核パートナーシップイタリアの Dr. Daniela Maria Cirillo が森亨先生と対談 (11/4) ●ストップ結核ジャパンアクションプラン・フォローアップ会合に参加 (11/25) 場所：JICA 監事：JICA 参加者：外務省 (国際保健政策室)、厚生労働省 (感染症課・国際課)、JICA (人間開発部保健第 2 グループ)、ストップ結核パートナーシップ日本 1. 「47th Union World Conference on Lung Health in Liverpool」 2. 国別の進捗状況 (インドネシア、フィリピン、ベトナム、アフガニスタン、タイ他) 3. TICAD VI 及び G7 サミット保健大臣会合について (結核関連) 4. 平成 29 年度結核関連予算概算要求 ・アジアを中心とした国際連携型グローバル臨床研究ネットワーク 	

	<p>ク拠点形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AMR 対策の推進 <p>5. フォローアップシート追加・補足事項</p>
<p>12 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●UHC デー（12/12）に向けて普及啓発への協力 ●APRC(アジア太平洋地域肺の健康学会・3月25日)への協力 議員連盟 武見敬三会長との面談（12/13） ●unicef 戦略“Results Frame Work”の” impact indicators”へ 結核を入れることへの働きかけ開始 ●GII/IDI NGO 外務省懇談会への参加（12/22 予定） ●第9回ストップ結核パートナーシップ日本理事会・総会開催 （12/26 予定）

